

山口大学様 向け

自己主導型学修総合電子システム (eYUSDL)

シラバス入カマニュアル

第3版
2024.12.23

<u>シラバス記入科目一覧</u>	3
<u>シラバス入力概要</u>	4
<u>他のシラバスのコピー(過去授業等)</u>	5
<u>他のシラバスのコピー(他の教員のシラバス)</u>	6
<u>使用言語・授業の目的と概要・授業の到達目標</u>	7
<u>授業の到達目標の追記</u>	8
<u>授業計画</u>	9
<u>授業回の設定</u>	10
<u>アクティブラーニング割合</u>	11
<u>成績評価法</u>	12
<u>ルーブリック</u>	13
<u>教科書</u>	14
<u>参考書</u>	15
<u>メッセージ・キーワード</u>	16
<u>持続可能な開発目標(SDGs)</u>	17

<u>関連科目・履修条件</u>	18
<u>連絡先・オフィスアワー</u>	19
<u>登録方法</u>	20
<u>登録区分</u>	21
<u>登録内容の確認</u>	22
<u>英語シラバスを未記入にする手順</u>	23
<u>日本語シラバスを未記入にする手順</u>	24

[トップページ](#) Top page
 [メッセージ](#) Messages
 [履修・成績](#) Grades information
 [授業支援](#) Class Support
 [ポートフォリオ](#) Portfolio
 [シラバス](#) Syllabi

[シラバス登録](#)
[シラバス検索](#)

シラバス記入科目一覧

開講年度： 2025年度 ▾

 授業担当
 シラバス編集担当

	開講年度	開講学期	学部・学科	時間割コード	授業科目名 (責任教員)	曜日時間	代表時間割	登録状況		記入	閲覧		登録期限
								日本語	英語		日本語	英語	
1	2025年度	前期	共通教育	1001181025	数学 I	月3~4	●	未記入	未記入	記入			12/31(木)
2	2025年度	前期	共通教育	1001181026	数学 I	月3~4		未記入	未記入	子時間割			12/31(木)
3	2025年度	前期	共通教育	1002182025	数学 II	水5~6		未記入	未記入	記入			12/31(木)

授業担当外で、シラバスの記入担当になっている授業科目を記入する場合は、「シラバス編集担当」をクリックします。

シラバス記入画面

localhost/yama19c2024/Portal/ProfApp/SyllabusV2/EntryMain.aspx 70% ☆ ☰

開講年度	開講学部等		
2025	共通教育		
開講学期	曜日時間	授業形態	AL (アクティブ・ラーニング) ポイント
前期	月3~4	講義	
時間割番号	科目名[英文名]	使用書籍	単位数
1001181025	数学 I (数学 I) [Mathematics I]		2
担当教員 (責任) [ローマ字表記]	メディア授業		
教員 太郎 [KYOIN Taro]	-		
担当教員 [ローマ字表記]			
教員 太郎 [KYOIN Taro]			
特定科目区分	対象学生	対象年次	
ディプロマ・ポリシーに關する項目	山口大学のディプロマ・ポリシー		

シラバスの入力画面は、日本語シラバスと英語シラバスの併記入力が可能です。(教科書/参考書の情報、SDGsなどの日本語・英語の区別がない項目は1つの入力になります。)
日本語シラバスのみ記入される場合は、日本語シラバス用の入力欄のみ入力してください。

入力対象シラバス
 日本語 英語
 プレビュー(日本語) プレビュー(英語)
 タイムアウト延長 保存・終了
 閉じる

データ参照

- 「シラバス登録」を押すとシラバス記入科目一覧が表示されます。
- 「記入ボタン」を押すと記入画面が新規ウィンドウで表示されます。
- 「子時間割」と表記されている授業科目は、入力する必要がありません。代表時間割を登録すると、その内容がコピーされます。

使用言語

授業で主に使用する言語（日本語か英語）を選択してください。

日本語 英語

授業の目的と概要（必須）

共通教育

日本語シラバス用

この数学Iでは、微分積分学を学習する。微分積分学は、理工系学問の基礎である。この講義では、特に一変数関数の微分と積分に関連する概念の理解と、様々な計算方法に習熟することを目的とする。

英語シラバス用

In this Mathematics I course, students will study differential and integral calculus. Calculus is the foundation of science and engineering. In this lecture, students will learn, in particular understanding of the concepts related to the differentiation and integration of functions of one variable, and to become familiar with various calculation methods.

登録時のオプション

更新対象シラバス

日本語 英語

プレビュー(日本語)

プレビュー(英語)

タイムアウト延長

保存・終了

閉じる

1. シラバスの入力画面は、日本語シラバスと英語シラバスの併記入力になります。
2. 日本語シラバスのみ記入する場合は、登録時のオプションで更新対象シラバスを「日本語」のみにチェックをして保存します。（デフォルトは日本語のみ）

開講年度	開講学部等		
2025	共通教育		
開講学期	曜日・時限	授業形態	AL (アクティブ・ラーニング) ポイント
前期	月3~4	講義	
時間割番号	科目名[英文名]	使用言語	単位数
1001181025	数学 I (数学 I)[Mathematics I]		2
担当教員 (責任) [ローマ字表記]	メディア授業		
教員 太郎 [KYOIN Taro]	-		
担当教員 [ローマ字表記]			
教員 太郎 [KYOIN Taro]			
特定科目区分	対象学生	対象年次	
ディプロマ・ポリシーに関わる項目	山口大学のディプロマ・ポリシー		

シラバスの入力画面は、日本語シラバスと英語シラバスの併記入力が可能です。（教科書/参考書の情報、SDGsなどの日本語・英語の区別がない項目は1つの入力になります。）
日本語シラバスのみ記入される場合は、日本語シラバス用の入力欄のみ入力してください。

入力対象シラバス
 日本語 英語
 プレビュー(日本語) プレビュー(英語)
 タイムアウト延長 保存・終了
 閉じる

データ参照

当年度参照 前年度参照 前々年度参照 その他参照

- 自身が担当する授業のシラバスを参照してコピーする場合は、当年度参照・前年度参照・前々年度参照ボタンを押します。
- 参照ボタンを押すと、その年度のシラバス一覧が表示されます。

[コピー]ボタンを押すと選択された科目の内容が、現在編集中の科目にコピーされます。

表示件数: 表示件数: 30件毎

コピー対象科目一覧

	開講年度	時間割コード	科目名	曜日・時限	担当教員名	コピー
1	2024	1002180025	数学Ⅱ	木3~4	教員 太郎	コピー
2	2024	1002180039	数学Ⅱ	水5~6	教員 太郎	コピー

閉じる

- 「コピー」ボタンを押すとそのシラバスが記入中のシラバスにコピーされます。
- 科目名をクリックするとそのシラバスの内容を参照できます。

2025年度は、項目が変更となったため、以下の項目はコピーされません。

- ・ 授業の到達目標
- ・ 成績評価法
- ・ ALの割合
- ・ 授業計画 備考
- ・ 履修条件

開講年度	開講学部等		
2025	共通教育		
開講学期	曜日時限	授業形態	AL (アクティブ・ラーニング) ポイント
前期	月3~4	講義	
時間割番号	科目名[英文名]	使用言語	単位数
1001181025	数学 I (数学 I) [Mathematics I]		2
担当教員 (責任) [ローマ字表記]	メディア授業		
教員 太郎[KYOIN Taro]	-		
担当教員[ローマ字表記]			
教員 太郎 [KYOIN Taro]			
特定科目区分	対象学生	対象年次	
ディプロマ・ポリシーに関わる項目	山口大学のディプロマ・ポリシー		

シラバスの入力画面は、日本語シラバスと英語シラバスの併記入力が可能です。（教科書/参考書の情報、SDGsなどの日本語・英語の区別がない項目は1つの入力になります。）
日本語シラバスのみ記入される場合は、日本語シラバス用の入力欄のみ入力してください。

入力対象シラバス

日本語 英語

プレビュー(日本語) プレビュー(英語)

タイムアウト延長 保存・終了

閉じる

データ参照

当年度参照 前年度参照 前々年度参照 **その他参照**

他の教員が担当する授業のシラバスを参照してコピーする場合は、「その他参照」を押します。

2025年度は、項目が変更となったため、以下の項目はコピーされません。

- ・ 授業の到達目標
- ・ 成績評価法
- ・ ALの割合
- ・ 授業計画 備考
- ・ 履修条件

開講年度	2024年度
開講学部	共通教育[Y11]
開講学科	
教員名 (英文可)	
科目名 (英文可)	数学I
条件クリア	

検索



開講年度、開講学部を選択して、教員名または科目名を入力して検索ボタンを押します。



コピー対象科目一覧

	開講年度	時間割コード	科目名	曜日・時限	担当教員名	コピー
1	2024	1001180025	数学 I	月3~4	教員 太郎	コピー
2	2024	1001180026	数学 I	月3~4	教員 太郎	コピー

1. 「コピー」ボタンを押すとそのシラバスが記入中のシラバスにコピーされます。
2. 科目名をクリックするとそのシラバスの内容を参照できます。

使用言語

授業で主に使用する言語（日本語か英語）を選択してください。

日本語 英語

授業の目的と概要 **(必須)**

授業の目的と授業の概要を記入してください。

この授業が何のためにあるのか、この授業でどのようなことを学ぶのかを学生が理解できるようわかりやすく記入してください。

※「実務経験のある教員による授業科目」の場合、「どのような実務経験を持つ担当教員」が「その実務経験を活かして、どのような授業を行うか」も記入してください。

日本語シラバス用

英語シラバス用

「使用言語」を選択します。

「授業の目的と概要」を記入します。

8 授業の到達目標の追記

授業の到達目標 (必須)

科目の標準的な到達目標が初期値として表示されています。
初期値に対して追記する場合は、以下をチェックしてください。

授業の到達目標を追記する場合はチェックして下さい。

日本語シラバス用	1. 行列や行列式の基本的な取り扱いができる。 2. 線形代数の基本的な定理を応用することができる。
英語シラバス用	



授業の到達目標 (必須)

科目の標準的な到達目標が初期値として表示されています。
初期値に対して追記する場合は、以下をチェックしてください。

授業の到達目標を追記する場合はチェックして下さい。

日本語シラバス用	1. 行列や行列式の基本的な取り扱いができる。 2. 線形代数の基本的な定理を応用することができる。 3.
英語シラバス用	

1. 「授業の到達目標」に関しては、事務が設定している科目標準の到達目標が初期値として表示されています。原則、変更しないでください。ただし、クラスごとに追加の目標がある場合は、追記して下さい。
2. 初期値に対して追記する場合は、「授業の到達目標を追記する場合はチェックして下さい。」をチェックすると編集が可能となります。

(授業の到達目標はあらかじめ決まったものとなっています。初期値の授業の到達目標の変更を希望する場合は、専門科目は各学部学務係にご連絡ください。共通教育科目は原則変更できません。)

授業計画

一般目標・到達目標を実現する授業内容・方法を記入してください。
【全体】には、授業計画を文章で記入してください。
【週単位】には、週ごとに授業計画を記入してください。

【全体】（必須）

日本語シラバス用	<ul style="list-style-type: none"> 関数の極限と連続関数 微分法とその応用 積分法とその応用 <p>中間試験と期末試験を行います。 復習のためのレポート課題はほぼ毎回あります。 必要に応じて、小テストや追加のレポートを課すこともあります。</p> <p>週ごとの授業計画は、学生の理解度に応じて前後することがあります。 中間試験、期末試験、小テスト、レポートなどの成績評価に占める割合は下記を標準としますが、受講生</p>
英語シラバス用	

授業全体の計画を記入します。

授業回数数の設定

8回 16回 30回

追加

	項目	内容	授業時間外学習	備考
第1回	日本語	オリエンテーション/ 実数、数列の極限	数の拡張、数直線と実数の連続性、集合の有界性、数列の極限、数列の単調性、実数の連続性公理及びその活用（数列の極限とその基本性質、二項定	予習として、高校で学んだ微分積分の内容を復習と、テキストの1ページ～9ページを読んでおくこと（目安時間：2時間）。復習と、授業中に擬
	英語			
第2回	日本語	連続関数	関数極限の定義と基本的性質、連続関数の定義、四則演算の連続性、合成関数の連続性、中間値の定理、最大・最小値の存在定理	予習としてテキストの10ページ～14ページを読んでおくこと（目安時間：2時間）。復習と、授業中に指示した課題の解答作成（2時間）を行う。
	英語			

1. 授業回数を8回・16回・30回から選択します。
2. 選択した授業回数に合わせて授業スケジュール表が変わります。
3. 各授業回の内容を記入します。

授業回の設定

授業回数設定

 8回 16回 30回

追加

	項目	内容	授業時間外学習	備考
第1回	日本語 オリエンテーション/ 実数、数列の極限	数の拡張、数直線と実数の連続性、集合の有界性、数列の極限、数列の単調性、実数の連続性公理及びその活用（数列の極限とその基本性質、二項定理）	予習として、高校で学んだ微分積分の内容を復習と、テキストの1ページ~9ページを読んでおくこと（目安時間：2時間）、復習と授業中に指	
	英語			

- 最初に授業回を選択します。
- 選択授業回数分、授業スケジュール表が表示されます。

授業回を増やす場合

授業回数設定

 8回 16回 30回

追加

	項目	内容	授業時間外学習	備考
第1回	日本語 オリエンテーション/ 実数、数列の極限	数の拡張、数直線と実数の連続性、集合の有界性、数列の極限、数列の単調性、実数の連続性公理及びその活用（数列の極限とその基本性質、二項定理）	予習として、高校で学んだ微分積分の内容を復習と、テキストの1ページ~9ページを読んでおくこと（目安時間：2時間）、復習と授業中に指	
	英語			

- 授業回を増やす場合は、「追加」ボタンを押します。
- 授業スケジュール表の末尾に1回分追加されます。

増やした授業回を削除する場合

	項目	内容	授業時間外学習	備考
第8回	日本語 定期試験	筆記試験	授業前半の学習内容を点検してください(学修時間の目安：4時間以上)。	
	英語			
第9回	日本語 削除			
	英語			

追加した授業回は「削除」できます。

	項目	内容	授業時間外学習	備考
第8回	日本語	定期試験 筆記試験	授業前半の学習内容を点検してください(学修時間の目安：4時間以上)。	
	英語			

AL (アクティブ・ラーニング) 欄に関する注

A~Eのアルファベットは、以下の学修形態を指しています。

【A：グループワーク】、【B：ディスカッション・ディベート】、【C：フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)】、【D：プレゼンテーション】

- (A) グループワーク %
- (B) ディスカッション・ディベート %
- (C) フィールドワーク (実験・実習、演習を含む) %
- (D) プレゼンテーション %

- 【A：グループワーク】、【B：ディスカッション・ディベート】、【C：フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)】、【D：プレゼンテーション】に対して合計が100以下となるように5%ごとに割合を選択します。
- ALポイント = $(A+B+C+D) \div 10$ として算出されます。
- ALの割合の合計が100%を超える場合は、エラーメッセージが表示されます。

【登録エラー】

合計が100%以内となるように登録してください。

成績評価法

成績評価法を入力します。

日本語シラバス用

成績評価の方法としては、試験の成績および履修状況を総合評価する。

英語シラバス用

成績評価法を記入します。

注意！

・ 授業の到達目標の達成状況を評価するための方法を記入してください。成績評価では、基準、配分を必ず明示し、合計が100%になるようにしてください。成績評価に出席点は利用できません。

例：小テスト〇%，学期末の筆記テスト〇%，レポート〇%

ルーブリック等の評価基準

ファイル名	備考
参照... ファイルが選択されていません。	日本語シラバス用
参照... ファイルが選択されていません。	英語シラバス用
参照... ファイルが選択されていません。	日本語シラバス用
参照... ファイルが選択されていません。	英語シラバス用
参照... ファイルが選択されていません。	日本語シラバス用
参照... ファイルが選択されていません。	英語シラバス用

添付ファイルの指定

名前	更新日時
ルーブリック評価基準.pdf	2022/12/23 13:37

1. 添付ファイルは、日英共通です。
2. 「参照」を押して、ルーブリックが記載されたPDFファイルを選択します。
3. 最大3つのファイルを登録できます。

PDFファイル

別添日付	評価	完全に対応している	一部は対応している	対応に努力を要する	対応には全く対応していません。担当の努力が必要である。
取り上げた学習項目において、その科目を履修している科目について記載される。	取り上げた学習項目において、その科目を履修している科目について記載される。	取り上げた学習項目において、その科目を履修している科目について記載される。	取り上げた学習項目において、その科目を履修している科目について記載される。	取り上げた学習項目において、その科目を履修している科目について記載される。	取り上げた学習項目において、その科目を履修している科目について記載される。
授業計画を履修、卒業、修了の観点から多面的に記述し、授業の修了・修了するまでに必要となる学習成果を具体的に記述することを目指す。	授業計画を履修、卒業、修了の観点から多面的に記述し、授業の修了・修了するまでに必要となる学習成果を具体的に記述することを目指す。	授業計画を履修、卒業、修了の観点から多面的に記述し、授業の修了・修了するまでに必要となる学習成果を具体的に記述することを目指す。	授業計画を履修、卒業、修了の観点から多面的に記述し、授業の修了・修了するまでに必要となる学習成果を具体的に記述することを目指す。	授業計画を履修、卒業、修了の観点から多面的に記述し、授業の修了・修了するまでに必要となる学習成果を具体的に記述することを目指す。	授業計画を履修、卒業、修了の観点から多面的に記述し、授業の修了・修了するまでに必要となる学習成果を具体的に記述することを目指す。
担当が担当の授業科目に専心し、授業の修了・修了し、授業計画の修了・修了することを目指す。	担当が担当の授業科目に専心し、授業の修了・修了し、授業計画の修了・修了することを目指す。	担当が担当の授業科目に専心し、授業の修了・修了し、授業計画の修了・修了することを目指す。	担当が担当の授業科目に専心し、授業の修了・修了し、授業計画の修了・修了することを目指す。	担当が担当の授業科目に専心し、授業の修了・修了し、授業計画の修了・修了することを目指す。	担当が担当の授業科目に専心し、授業の修了・修了し、授業計画の修了・修了することを目指す。
授業計画を履修、卒業、修了の観点から多面的に記述し、授業の修了・修了するまでに必要となる学習成果を具体的に記述することを目指す。	授業計画を履修、卒業、修了の観点から多面的に記述し、授業の修了・修了するまでに必要となる学習成果を具体的に記述することを目指す。	授業計画を履修、卒業、修了の観点から多面的に記述し、授業の修了・修了するまでに必要となる学習成果を具体的に記述することを目指す。	授業計画を履修、卒業、修了の観点から多面的に記述し、授業の修了・修了するまでに必要となる学習成果を具体的に記述することを目指す。	授業計画を履修、卒業、修了の観点から多面的に記述し、授業の修了・修了するまでに必要となる学習成果を具体的に記述することを目指す。	授業計画を履修、卒業、修了の観点から多面的に記述し、授業の修了・修了するまでに必要となる学習成果を具体的に記述することを目指す。
取り上げた学習項目において、その科目を履修している科目について記載される。	取り上げた学習項目において、その科目を履修している科目について記載される。	取り上げた学習項目において、その科目を履修している科目について記載される。	取り上げた学習項目において、その科目を履修している科目について記載される。	取り上げた学習項目において、その科目を履修している科目について記載される。	取り上げた学習項目において、その科目を履修している科目について記載される。

教科書にかかわる情報

追加

教科書	昨年度と同じ <input type="checkbox"/>	書名		ISBN	978-4780601145	自動入力	削除
		著者名		出版社		出版年	
教科書	昨年度と同じ <input type="checkbox"/>	書名		ISBN	自動入力		削除
		著者名		出版社		出版年	



1. ISBNコードを入力して「自動入力」を押します。
2. 国立情報科学研究所のデータベースを参照して書籍情報がセットされます。

教科書にかかわる情報

追加

教科書	昨年度と同じ <input checked="" type="checkbox"/>	書名	工学系の微分積分学：入門から応用まで	ISBN	978-4780601145	自動入力	削除
		著者名	星賀彰 [ほか] 共著	出版社	学術図書出版社	出版年	2008
教科書	昨年度と同じ <input type="checkbox"/>	書名		ISBN	自動入力		削除
		著者名		出版社		出版年	
教科書	昨年度と同じ <input type="checkbox"/>	書名		ISBN	自動入力		削除
		著者名		出版社		出版年	
教科書	昨年度と同じ <input type="checkbox"/>	書名		ISBN	自動入力		削除
		著者名		出版社		出版年	

昨年度と同じ書籍の場合は、「昨年度と同じ」にチェックを記入します。

1. 書誌情報は、日英共通入力です。
2. 冊数を増やす場合は、「追加」ボタンを押します。
3. 書籍を削除する場合は、「削除」ボタンを押します。
4. すべて空欄の行は削除する必要はありません。

備考

日本語シラバス用	
英語シラバス用	

参考書にかかわる情報

追加

参考書	昨年度と同じ <input type="checkbox"/>	書名		ISBN	9784780601145	自動入力	削除
		著者名		出版社		出版年	
参考書	昨年度と同じ <input type="checkbox"/>	書名		ISBN	自動入力	削除	
		著者名		出版社		出版年	



参考書にかかわる情報

追加

参考書	昨年度と同じ <input checked="" type="checkbox"/>	書名	工学系の微積分学：入門から応用まで	ISBN	9784780601145	自動入力	削除
		著者名	星賀彰 [ほか] 共著	出版社	学術図書出版社	出版年	2008
参考書	昨年度と同じ <input type="checkbox"/>	書名		ISBN	自動入力	削除	
		著者名		出版社		出版年	
参考書	昨年度と同じ <input type="checkbox"/>	書名		ISBN	自動入力	削除	
		著者名		出版社		出版年	
参考書	昨年度と同じ <input type="checkbox"/>	書名		ISBN	自動入力	削除	
		著者名		出版社		出版年	
参考書	昨年度と同じ <input type="checkbox"/>	書名		ISBN	自動入力	削除	
		著者名		出版社		出版年	

備考

日本語シラバス用	
英語シラバス用	

1. ISBNコードを入力して「自動入力」を押します。
2. 国立情報科学研究所のデータベースを参照して書籍情報がセットされます。

昨年度と同じ書籍の場合は、「昨年度と同じ」にチェックを記入します。

1. 書誌情報は、日英共通入力です。
2. 冊数を増やす場合は、「追加」ボタンを押します。
3. 書籍を削除する場合は、「削除」ボタンを押します。
4. すべて空欄の行は削除する必要はありません。

メッセージ

履修にあたり伝えておくべき内容を記入してください。

日本語シラバス用

各回に指定した演習問題は全て解くように心がけて下さい。
講義中に質問対応の時間を設けますが、不足の場合は理学部棟1階に開室している学習相談室の利用を薦めます。

英語シラバス用

キーワード

キーワード検索に用いますので、授業の内容に対して適切なキーワードを記入してください。

日本語シラバス用

微積分

英語シラバス用

履修者へのメッセージを記入します。

キーワード検索の対象となる単語を登録します。

持続可能な開発目標 (SDGs)

- SDGsに該当しない。
- SDGs1(貧困)あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
- SDGs2(飢餓)飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
- SDGs3(保健)あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
- SDGs4(教育)すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
- SDGs5(ジェンダー)ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
- SDGs6(水・衛生)すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
- SDGs7(エネルギー)すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
- SDGs8(経済成長と雇用)包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
- SDGs9(インフラ、産業化、イノベーション)強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
- SDGs10(不平等)各国内及び各国間の不平等を是正する。
- SDGs11(持続可能な都市)包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
- SDGs12(持続可能な生産と消費)持続可能な生産消費形態を確保する。
- SDGs13(気候変動)気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
- SDGs14(海洋資源)持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
- SDGs15(陸上資源)陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
- SDGs16(平和)持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
- SDGs17(実施手段)持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる。

1. 持続可能な開発目標 (SDGs) は、日英共通入力です。
2. SDGsに該当しない場合は、「SDGsに該当しない」にチェックを記入してください。

持続可能な開発目標 (SDGs)

- SDGsに該当しない。
- SDGs1(貧困)あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
- SDGs2(飢餓)飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
- SDGs3(保健)あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
- SDGs4(教育)すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
- SDGs5(ジェンダー)ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
- SDGs6(水・衛生)すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
- SDGs7(エネルギー)すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
- SDGs8(経済成長と雇用)包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
- SDGs9(インフラ、産業化、イノベーション)強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
- SDGs10(不平等)各国内及び各国間の不平等を是正する。
- SDGs11(持続可能な都市)包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
- SDGs12(持続可能な生産と消費)持続可能な生産消費形態を確保する。
- SDGs13(気候変動)気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
- SDGs14(海洋資源)持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
- SDGs15(陸上資源)陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
- SDGs16(平和)持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
- SDGs17(実施手段)持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる。



持続可能な開発目標 (SDGs)



SDGsの目標をチェックした場合は、シラバス詳細画面でチェックした目標が表示されます。

関連科目

該当科目がございましたら記入ください。

日本語シラバス用

英語シラバス用

関連科目があれば記入します。

履修条件

履修するにあたって、前提となる条件があれば入力してください。

日本語シラバス用

英語シラバス用

履修条件があれば、記入します。

連絡先 (必須)

学生からの問合せを受け付ける連絡先を記入してください。
学生が必要な学習相談が行えるよう必ず記入してください。

日本語シラバス用

修学支援システムやMoodleのメッセージで連絡してください。

英語シラバス用

オフィスアワー (必須)

学生からの問合せを受け付ける曜日や時間帯等を記入してください。
学生が必要な学習相談が行えるよう必ず記入してください。
学生が事前に連絡をする必要があるなどの条件がある場合は、その旨明記してください。

日本語シラバス用

質問等は授業時や授業後、メール等で適宜受けます。
また、理学部数理科学科に数学の学習相談室があり、数学専攻の大学院生が質問等に応じてくれます。
必要に応じて利用してください。

英語シラバス用

連絡先を記入します。

オフィスアワーを記入します。

登録区分

本登録 ▾

更新通知メールを送信

更新対象シラバス
 日本語 英語

プレビュー(日本語) プレビュー(英語)

タイムアウト延長 保存・終了

閉じる

更新通知メールを送信にチェックを入れて保存した場合は、責任教員およびシラバス担当教員に対して登録通知メールが送信されます。

日本語シラバスのみ登録

更新対象シラバス
 日本語 英語

プレビュー(日本語) プレビュー(英語)

タイムアウト延長 保存・終了

閉じる

日本語シラバスのみ登録する場合は、更新対象シラバスを「日本語」のみして保存します。

日本語・英語シラバスとも登録

更新対象シラバス
 日本語 英語

プレビュー(日本語) プレビュー(英語)

タイムアウト延長 保存・終了

閉じる

日本語・英語シラバスとも更新する場合は、両方にチェックして、保存します。

英語シラバスのみ登録

更新対象シラバス
 日本語 英語

プレビュー(日本語) プレビュー(英語)

タイムアウト延長 保存・終了

閉じる

英語シラバスのみ更新する場合は、更新対象シラバスを「英語」のみして保存します。

The screenshot shows the registration interface. At the top, there is a dropdown menu for '登録区分' (Registration Type) with '本登録' (Final Registration) selected. Below it is a checkbox for '更新通知メールを送信' (Send update notification email). To the right, a floating menu shows '仮登録' (Draft Registration) and '本登録' (Final Registration). Below the registration type menu, there are buttons for 'プレビュー(日本語)' (Preview Japanese), 'プレビュー(英語)' (Preview English), 'タイムアウト延長' (Extend timeout), '保存・終了' (Save & End), and '閉じる' (Close). Above these buttons, there are radio buttons for '更新対象シラバス' (Update target syllabus) with '日本語' (Japanese) selected and '英語' (English) unselected.

1. 入力途中で、シラバスの詳細画面をプレビューする場合は、「プレビュー」をクリックします。日本語・英語それぞれの内容を確認できます。
2. 記入が途中で保存する場合は、登録区分を「仮登録」にして「保存・終了」をクリックします。「仮登録」の場合は、必須チェックは実行されません。
3. 記入が完了した場合は、登録区分を「本登録」にして「保存・終了」をクリックします。「仮登録」の場合は、必須チェックが実行されます。

更新通知メールを送信にチェックを入れて保存した場合は、責任教員およびシラバス担当教員に対して登録通知メールが送信されます。

[トップページ](#) / [メッセージ](#) / [履修・成績](#) / [授業支援](#) / [ポートフォリオ](#) / [シラバス](#)
[シラバス登録](#) / [シラバス検索](#)

シラバス記入科目一覧

開講年度： 2025年度 ▾

 授業担当
 シラバス編集担当

開講年度	開講学期	学部・学科	時間割コード	授業科目名 (責任教員)	曜日時間	代表時間割	登録状況		記入	閲覧		登録期限
							日本語	英語		日本語	英語	
1	2025年度 前期	共通教育	1001181025	数学 I	月3~4	●	公開	未記入	<input type="button" value="記入"/>	<input type="button" value="閲覧"/>		12/31(木)
2	2025年度 前期	共通教育	1001181026	数学 I	月3~4		公開	未記入	<input type="button" value="子時間割"/>	<input type="button" value="閲覧"/>		12/31(木)
3	2025年度 前期	共通教育	1002182025	数学 II	水5~6		公開	公開	<input type="button" value="記入"/>	<input type="button" value="閲覧"/>	<input type="button" value="閲覧"/>	12/31(木)

授業担当外で、シラバスの記入担当になっている授業科目を一覧に表示する場合は、「シラバス編集担当」をクリックします。

シラバス詳細画面

授業の到達目標

1. 行列や行列式の基本的な取り扱いができる。
2. 線形代数の基本的な定理を応用することができる。

授業計画

- 【全体】
- ・関数の極限と連続関数
 - ・微分法とその応用
 - ・積分法とその応用

中間試験と期末試験を行います。
復習のためのレポート課題はほぼ毎回あります。
必要に応じて、小テストや追加のレポートを課すこともあります。

週ごとの授業計画は、学生の理解度に応じて前後することがあります。
中間試験、期末試験、小テスト、レポートなどの成績評価に占める割合は下記を標準としますが、受講生の理解度に応じて前後することがあります。

授業の目的と概要

This course builds on the knowledge of derivatives and integrals of one-variable functions learnt in Mathematics I and covers derivatives (partial derivatives) and integrals (multiple integrals) of multivariable, mainly two-variable functions. The aim is to develop an understanding of derivatives, integrals and related concepts, and to become familiar with various calculation methods.

授業の到達目標

1. with an understanding of the basic concepts of partial differential calculus, be familiar with the basic methods and theorems of partial differential calculus, such as partial differentiation of composite functions, and be able to use them accurately
2. understand the basic concepts and theorems of multiple integrals, and be familiar with and accurately use the basic methods and theorems of the multiple integral method, such as power integrals and variable transformations of integrals.

1. 「本登録」で保存したシラバスの登録状況は「公開」と表示され、閲覧リンクが表示されます。
2. 「閲覧」を押すとシラバスの詳細画面が新規ウィンドウで表示されます。
3. 「英語シラバス」も登録が完了している場合は、英語シラバスの閲覧リンクが表示されます。

英語シラバスを未記入にする場合

登録区分

未記入 ▾

 更新通知メールを送信

以上で、シラバスの記入は終了です。
授業において、学生と活発な議論を実施してください。

入力対象シラバス

 日本語 英語

プレビュー(日本語) プレビュー(英語)

タイムアウト延長 保存・終了

閉じる

1. 登録区分を未記入にします。
2. 入力対象シラバスを「英語」に対してのみチェックします。
3. 「保存・終了」を押します。
4. 登録内容はそのまま、ステータスが未記入になります。
5. 内容もクリアする場合は、各項目の英語シラバス用の文字列を削除して保存します。

してください。
 4. この授業でどのようなことを学ぶのかを学生が理解できるようわかりやすく記入してください。
 5. 授業科目の場合、「どのような実務経験を持つ担当教員」が「その実務経験を活かして、どのような授業を

日本語シラバス用

この数学Iでは、微分積分学を学習する。微分積分学は、理工系学問の基礎である。この講義では、特に一変数関数の微分と積分に関連する概念の理解と、様々な計算方法に習熟することを目的とする。

英語シラバス用

授業の到達目標 (必須)

科目の標準的な到達目標が初期値として表示されています。
 初期値に対して追記する場合は、以下をチェックしてください。

 授業の到達目標を追記する場合はチェックして下さい。

日本語シラバス用

1. 行列や行列式の基本的な取り扱いができる。
2. 線形代数の基本的な定理を応用することができる。

英語シラバス用

日本語シラバスを未記入にする場合

登録区分

未記入 ▾

 更新通知メールを送信

以上で、シラバスの記入は終了です。
授業において、学生と活発な議論を実施してください。

入力対象シラバス

 日本語 英語

プレビュー(日本語) プレビュー(英語)

タイムアウト延長 保存・終了

閉じる

1. 登録区分を未記入にします。
2. 入力対象シラバスを「日本語」に対してのみチェックします。
3. 「保存・終了」を押します。
4. 登録内容はそのまま、ステータスが未記入になります。
5. 内容もクリアする場合は、各項目の日本語シラバス用の文字列を削除して保存します。

** 授業の目的と概要 (必須)

授業の目的と授業の概要を記入してください。

この授業が何のためにあるのか、この授業でどのようなことを学ぶのかを学生が理解できるようわかりやすく記入してください。

※「実務経験のある教員による授業科目」の場合、「どのような実務経験を持つ担当教員」が「その実務経験を活かして、どのような授業を行うか」も記入してください。

日本語シラバス用

英語シラバス用

This course builds on the knowledge of derivatives and integrals of one-variable functions learnt in Mathematics I and covers derivatives (partial derivatives) and integrals (multiple integrals) of multivariable, mainly two-variable functions. The aim is to develop an understanding of derivatives, integrals and related concepts, and to become familiar with various calculation methods.